

成田国際空港×ヤマハ Sound UD化プロジェクト 「おもてなしガイド」を活用した実証実験を9月1日より実施します！

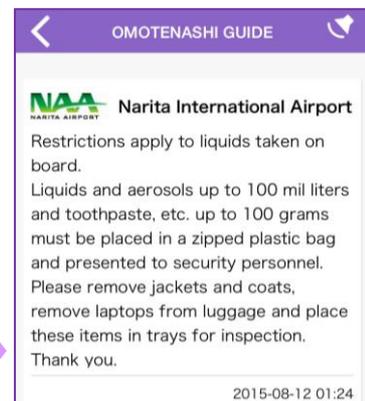
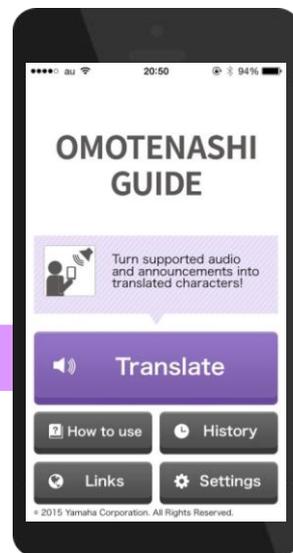
- 日本語の空港アナウンスをネット接続なしで旅客のスマホに多言語表示 -

成田国際空港株式会社は、訪日外国人のお客様や音声を聴き取りづらい高齢者、聴覚障がい者のお客様への情報提供における利便性向上を図るため、ヤマハ株式会社が開発した、日本語のアナウンス音声を多言語に翻訳して表示する「おもてなしガイド」アプリを活用した実証実験（Sound UD 化プロジェクト：音のユニバーサルデザイン化プロジェクト）を実施します。

空港の放送設備を使ったものとしては世界初の取り組みとなります。期間は2015年9月1日（火）から12月15日（火）までの約3ヶ月間、第2旅客ターミナル3階保安検査場にて実施します。

『液体物の持込が制限されております。
100ml以下の液体、エアゾール、100g以下の歯磨き粉等のペースト状のものはジッパー付きビニール袋に入れ、検査員にご提示ください。』（アナウンスの一部抜粋）

<空港内のアナウンス>



<スマートフォン表示画面（イメージ）>

- ・ 実施期間： 2015年9月1日（火）～2015年12月15日（火）
 - ・ 対象エリア： 第2旅客ターミナル本館3階 保安検査場（国際線）
 - ・ 対応言語： 日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語、タイ語、フランス語、スペイン語、インドネシア語
- ※ 本実証実験におけるサービスをご利用いただくには、「おもてなしガイド」アプリをインストールしていただく必要があります。（別紙参照）

空港の利用者は、空港内（保安検査場）で注意事項などのアナウンスが流れている時に「おもてなしガイド」アプリを利用すると、インターネットに接続することなく、アナウンスの内容を手元のスマートフォンで普段お使いの言語にて表示・確認することができるようになります。本実証実験を通して、「おもてなしガイド」の機能追加や利便性向上を図り、対象アナウンスと放送エリアの拡大を今後検討してまいります。

なお、本実証実験については、関西国際空港で同時に実施予定であり、ヤマハ株式会社においても同時リリースいたします。



「成田国際空港×ヤマハ Sound UD 化プロジェクト」概要

- ◆ 実施期間 : 2015年9月1日(火)~2015年12月15日(火)
- ◆ 対象エリア : 第2旅客ターミナル本館3階 保安検査場(国際線)
(検査場内のインフォメーションが対象アナウンスとなります。)
- ◆ アプリ名称 : 「おもてなしガイド※」
- ◆ 対応言語 : 日本語、英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語、
タイ語、フランス語、スペイン語、インドネシア語
- ◆ 対応環境 : iOS 7.0以降対応 *Android版は現在開発中
- ◆ 料金 : 無料 (但し、アプリダウンロード及びアプリ使用時の通信料は、お客様の負担となります。)
- ◆ ダウンロード: App Store からダウンロード
<https://itunes.apple.com/jp/app/omotenashigaido/id980596965?mt=8>



おもてなしガイド



※ 「おもてなしガイド」とは・・・



増加する訪日外国人観光客の利便性の向上や、高齢者や聴覚障がい者の方が暮らしやすい社会を目指すうえで、音声情報の内容をわかりやすい形で伝えていくことは重要です。しかし、何れ国語もの翻訳音声アナウンスしたり、音声の内容を字幕で表示したりする方法では、コストはもちろん、時間や表示スペース上の制約から効果的に内容を伝えられない場合があります。

「おもてなしガイド」はこうした課題を解決すべく開発された「音のユニバーサルデザイン化」を支援する新しいシステムです。「おもてなしガイド」を導入すると、駅や空港、観光地等で日本語のアナウンスが流れると、多言語化された内容を、ユーザーのスマートフォンに文字や音声で提供することができるようになります。インターネット通信を必要としないので機内モードでも利用できることも特長の一つです。ヤマハ株式会社では、多くの企業や自治体などと協力して「おもてなしガイド」を普及させる「Sound UD 化プロジェクト」を実施しています。

・「おもてなしガイド」ウェブサイト:<http://omotenashiguide.jp>

※このニュースリリースに掲載されている製品情報などは、発表日現在の情報です。発表日以降に変更される場合もありますので、あらかじめご了承ください。

※「おもてなしガイド」はヤマハ株式会社の登録商標です。